

No. 352025年7月27日

三位一体後第六主日礼拝

説教『生きた石として』

司会

奏楽

招詞

主の祈

讃詠

交読詩編

祈禱

讃美歌

使徒信条

聖書

説教

吉丸初美師

高橋圭子さん

白石百合子さん

ローマ人への手紙6章6～7節

(564)

546

詩21編

21-66

(566)

Iペテロ手紙2章2～10節

(口語訳367頁、新共同訳429頁)

『生きた石として』

祈讃

美歌

献金

感謝

報謝

頌祝

後奏

21

—

4

0

1

次週の礼拝(三位一体後第七主日礼拝・平和聖日)

説教『本物の愛に生きる』

ローマ人への手紙12章9節～21節

招詞マタイ書5章9節/交読詩篇11編

讃美歌546、21-486、21-376、544

礼拝当番

今週27日司会高橋圭子さん

次週3日司会山根眞三さん

会堂清掃奉仕

8月3日(日)コーヒータイトム後行います

本日の集会

★教会学校 午前9時45分～

★出会いのひととき 礼拝後～

それぞれの思いを語り合しましょう。

★日本基督教団広島南部教会堤 健生牧師就任式
7月27日15時～ 於：広島南部教会

今週の集会/スケジュール

★聖書を読む会 7月29日(火)10時30分～12時
聖書・社会情勢など様々な事を皆様と一緒に懇談する時間です。是非ご参加ください。

めぐみ幼稚園 夏期パンダ保育火・木曜日
小さな子羊さんたちは、朝登園したら先ず亀さんにご飯をあげます。そして、プールで遊んだり先生と色々な事をしてみんなで、楽しく過ごしています。

次週以降のスケジュール等

★平和聖日・原爆永眠者記念礼拝 8月3日(日)
原爆・戦争で永眠された方々を覚えます。
新たに覚えるべき方があればお知らせ下さい。

★聖書を読む会 8月5日(火)10時30分～12時

★『8.6ヒロシマ平和の祈り』8月6日(水)15時～16時30分 於：広島流川教会

★『8.6ヒロシマ平和の集い』8月6日(水)20時10分～ 於：平和公園原爆供養塔前

★第58回「敗戦の日・追悼と、平和を求める集会」
今を新たな戦前にさせないために
ー安保法制施行10年と憲法九条ー
8月10日(日)14時～16時 於：広島流川教会
平和についてご一緒に考えてみませんか

◎ 夏期特別献金

神様の恵みを感謝して、感謝と祈りの中に夏季特別献金を捧げましょう。目標118500円

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	2	7	9
レコードコンサート	4	5	9

◇今週の説教要旨(三位一体後第六主日礼拝)			
『生きた石として』 I ペテロ書2章2～10節			
「石」という言葉は旧約・新約聖書によく出てきますが、日本人には理解しづらい言葉です。聖書では建物の土台や基礎、転じて物事の土台や根拠、大切なものを表す事があります。しかし「生きた」と頭に付くと無機質な石が何故生きるのかと不思議になります。「石」という言葉から何を想像しますか。私は小説「路傍の石」を思い出しました。「路傍の石」とは道端の石という意味です。道路に出っ張った石は、やがて行き交う車に踏みつけられ、弾き飛ばされ、人の足で蹴られて道路の脇に追いやられます。「路傍の石」は道路に取っても邪魔なもので、道の傍らに忘れ去られて行きます。しかし、同時に「石」はどんなに踏みつけられても砕け散らず、そこにあり続ける「強硬さ」と「不変性」を持っています。今日は「生きた石」「捨て石」「隅の石」「つまずきの石」という表現が出てきます。また、「石」は単に石ではなく信仰・罪・傷害等の様々な側面を象徴する重要な要素のようです。この手紙は信仰のゆえに困難や迫害に直面していた初代教会の信徒たちに向けて書かれたと言われ、現代に生きる私たちにも同じ様に語りかけてます。神は私たちが「純粋な霊の乳」神のみ言葉によって、霊的成長することを心から願っています。そして、キリストをを礎とし「霊的な家」を建てられる時私たち一人ひとりを「生きた石」として用いようとされます。また、私たちを「聖なる祭司」とし神に喜ばれる霊的礼拝を捧げる者となりました。かつては神の民でなかった私たちがキリストを信じて失望せず躓かない様に神はキリストを「礎の石」として与え、彼を信じる者に堅固な基盤を築かせたいと思われています。これ程、神から大切にされ愛されていると痛感します。ですから、私たちは日々の生活の中で選ばれた民として神の栄光を証しする必要が有るのです。			